

桐生市DX推進計画の策定について（新規）

日本は、先進国の中でもデジタル化が遅れており、行政システムも非効率であることが問題視されてきました。国は、デジタル社会の将来ビジョンに「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を掲げ、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を進めることとし、その実現に向けて令和3年9月にデジタル庁を発足しました。

桐生市におきましても、新本庁舎の使用開始に合わせ、デジタル技術とデータの活用を推進し、デジタルを駆使した更なる住民サービスの向上が今まで以上に求められておりますが、現状では、DXに関して指標となるような計画や方針は示されていないため、従来通りのアナログ方式の業務プロセスから脱却し、インターネットやITツールを活用した更なる「積極的な行政改革＝DX」を実行するための指標として「桐生市DX推進計画」の策定を強く要望いたします。

これにより、市民の利便性の向上（行政手続きのオンライン化、マイナンバーカードの普及等）や地域社会のDX推進、すべての住民にデジタルデバイドの解消、デジタルインフラの整備など桐生市全体のDXが加速度的に進むものと考えます。

桐生市からの回答

本市におけるDX推進計画については、令和6年3月に内容を見直した「桐生市行政改革方針後期実施計画」の実施策として包含しております。

具体的には、実施施策5「ICTを活用した効率的、効果的な行政経営の推進」として、その取組にあたっては、「市民目線に立った便利で優しいデジタル行政サービスの提供とデジタル技術の活用による効率的な行政運営の実現」をDX推進の目指す姿とし、職員一人一人が日々の業務に対して改善・改革の意識を持ち、自分事としてDX推進に取り組むこととしております。

今後につきましても、デジタルデバイス対策としてスマホ教室などを開催するとともに、書かない窓口や電子申請などDX推進によって市民の利便性向上を図っていく予定であります。

[回答担当] 総務部DX推進室業務プロセス担当